

若い人材が「働きたい」業界へ。
**建設業界の
三人のトップに
聞く。**



上司が専門学校の指導員で指導も
分かりやすくて的確。

株式会社横建はコンクリート建築に欠かせない、型枠工事を手がける建設会社です。特に低層アパート建築では豊富な実績を持ち、大手ゼネコン等からも高い評価を得ています。そんな同社を率いるのは代表の横山齊さん。このごろ話題となっている建設業界の高齢化にも早くから危機感を持ち、若手の育成・採用に力を注いできました。

「高齢化によって問題となるのが技術やノウハウの継承。新人が入らなければせっかく積み重ねた、会社の財産が失われてしまいます」

「同社が取り組んでいるのが、技術専門学校との連携です。学校で型枠工事の基礎を学んだ生徒を受け入れ、横建が現

株式会社横建 / 代表取締役
横山齊さん

**理解しやすいように
教えることも肝心。**



「株式会社横建」
代表取締役 横山齊さん
(中央)と若手職人の皆さん

場実習を担当しています。

「現場で求められる実践的なスキルを教えるのが私達の役割。実習を通じて先輩職人との交流を深めることで、多くの生徒が卒業後に当社を志望してくれるようになりました」

横建では新人の研修にも、多くの時間を費やしています。

「いきなり現場には出さず、2週間から1カ月は資材センターで工具の使い方や作業の基本をじっくり指導します。さらに教える人間によってムラが出ないように、技術を標準化したり、指導DVDなども活用するんです。相手が理解しやすいように教えることで、その後の成長が早いと感じています」

仕事のやりがいを感じるためにもスムーズな技術習得は欠かせないと横山さん。

「先輩に言われたことをこなすのではなく、自ら考え、行動できるようになって初めてやりがいは得られるもの。効率よく学べるようサポートすることで、一日も早くこの仕事を選んで良かったと感じてもらいたいです」



自社の資材センターで工具の使い方なども
じっくり練習することができる。

